

授業科目名	幼児と環境	科目コード	204021		
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園教諭	学 年	1 年
担当教員	非常勤講師		実務経験教員 (有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無)		
	実務経験内容 ・近畿大学九州短期大学通信教育部非常勤講師 大学教員として 17 年間勤務し、主に保育・教育分野にて、保育者養成や教員養成に携わってきた経験を活かし授業を行う。				
開講時期	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須・選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	新しい保育講座9 保育内容「環境」			
	著 者	久保健太・高嶋景子・宮里暁美 編著			
	出版社	ミネルヴァ書房, 2022			
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	『幼稚園教育要領解説』・『保育所保育指針解説』・『幼保連携型認定こども園教育保育要領解説』（フレーベル社）最新版				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> ・保育・幼児教育の基本を踏まえて、領域「環境」のねらいと内容を理解する。 ・様々な環境とのかかわりを通した、子どもの育ちについて理解する。 ・小学校教育への円滑な接続のために必要な視点（領域「環境」）を身につける。					
<授業の概要・授業方針> ・領域「環境」の知識の習得と、これらを通した子ども・保育者の育ちについて理解する。 ・保育施設の具体的な生活体験を重視した領域「環境」の重要性を理解する。 ・保育・幼児教育と小学校との接続を見据えた実践とその評価を理解する。					
<成績基準・評価基準> ・レポート 50% ・科目終末試験 50% 成績基準 優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可：59 点以下					
<使用問題集・注意事項>					
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>					

授業科目名		幼児と環境	
回	授 業 内 容		備 考
1	環境を通じた保育と子どもの成長①		
2	環境を通じた保育と子どもの成長②		
3	第1章 子どもを取り巻く環境①		
4	第1章 子どもを取り巻く環境②		
5	第2章 身近な環境とのかかわりと感性の育ち①		
6	第2章 身近な環境とのかかわりと感性の育ち②		
7	第3章 モノとのかかわりを通して生まれる育ち(学び)①		
8	第3章 モノとのかかわりを通して生まれる育ち(学び)②		
9	第4章 自然とのかかわりを通して生まれる育ち(学び)①		
10	第4章 自然とのかかわりを通して生まれる育ち(学び)②		
11	第5章 社会とのかかわりを通して生まれる育ち(学び)①		
12	第5章 社会とのかかわりを通して生まれる育ち(学び)②		
13	第6章 保育における「領域」の意義と領域「環境」のねらい及び内容①		
14	第6章 保育における「領域」の意義と領域「環境」のねらい及び内容②		
15	第7章 乳児保育における「環境」とのかかわり①		
16	第7章 乳児保育における「環境」とのかかわり②		
17	第8章 モノとのかかわりを支える保育の展開①		
18	第8章 モノとのかかわりを支える保育の展開②		
19	第9章 自然とのかかわりを支える保育の展開①		
20	第9章 自然とのかかわりを支える保育の展開②		
21	第10章 社会とのかかわりを支える保育の展開①		
22	第10章 社会とのかかわりを支える保育の展開②		
23	第11章 領域「環境」と小学校教育のつながり①		
24	第11章 領域「環境」と小学校教育のつながり②		
25	第12章 環境における現代的課題と保育①		
26	第12章 環境における現代的課題と保育②		
27	第13章 共に環境を創造する「創り手」としての子ども・保育者・保護者の育ち合い①		
28	第13章 共に環境を創造する「創り手」としての子ども・保育者・保護者の育ち合い②		
29	3 法令の改訂における領域の位置づけと保育内容の変遷		

30	まとめと振り返り	
----	----------	--